



TUFS Cinema
Tokyo University of Foreign Studies

パレスチナ・ドキュメンタリー映画上映会

UN FILM DE
**SAMIR ABDALLAH &
KHÉRIDINE MABROUK**

GAZA

PALESTINE STROPHE

ガザ=ストロフ-パレスチナの^{うた}吟-

TUFS Cinema とは……

東京外国語大学TUFS Cinemaは、映画を通じ、世界の諸地域における社会・歴史・文化の理解を深めることを目的としています。

上映会を通して、今なお戦闘が続く（2024年3月現在）パレスチナ自治区・ガザで暮らす人々の姿、言葉に耳を傾け、この土地で何が起きてきたか理解を深める契機になればと思います。



上映日時 2024年

5月10日

18:00上映開始（開場17:40、終了予定21:00）【金】

場所 **東京外国語大学**

アゴラ・グローバルプロメテウス・ホール
（東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分）

プログラム

映画『ガザ=ストロフ-パレスチナの^{うた}吟-』
本編上映（92分）

上映後トーク（オンライン）：
ケリディン・マブルーク（監督）

解説・通訳：二口 愛莉（日仏通訳者・写真作家）
司会：大川 正彦（東京外国語大学教授）

主催 東京外国語大学 TUFS Cinema
協力 Shkran
東京外国語大学多言語多文化共生センター

入場無料
事前登録制 ▶▶
（先着500名）



<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240510form/>

※事前登録がなくてもご来場いただくことは可能ですが、会場入口で参加登録をしていただきますので、事前にご登録いただくとスムーズにご入場いただけます。

定員を超える場合は、事前登録を済ませた方を優先させていただきます。

【お問合せ】
東京外国語大学 広報・社会連携課
(TUFS Cinema担当)

TEL **042-330-5441**
(平日9:00-17:00)

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://www.tufs.ac.jp/tufscinema/>



上映日

2024年5月10日(金) 18:00上映開始(17:40開場、21:00終了予定)

パレスチナ・ドキュメンタリー映画上映会

ガザ=ストロフ-パレスチナの吟^{うた}

監督: サミール・アブダラ ケリディン・マブルーク
編集: カヘナ・アティア 音楽: アバス・バハティアリ
製作: Iskrra L'Yeux Ouverts 協力: パレスチナ・メディア・グループ
日本語字幕: ニコ愛莉 配給・宣伝: Shkran

受賞歴

フランスTVグランプリ / 第15回マルセイユ国際ドキュメンタリー・ルポルタージュ映画祭
審査員賞グランプリ 及び 若手ジャーナリスト審査委員賞 / 第21回ベサック国際歴史映画祭 / 2010
アハメド・アッティア賞 / 第12回バルセロナMEDIMED / 2010
エル・アルド賞 / カリアリ・アルアルド映画祭

あらすじ

2008年12月末から2009年1月にかけてイスラエルによるガザの大規模侵襲が起き、停戦の翌日に監督のサミール・アブダラとケリディン・マブルークは、パレスチナ人権センターの調査員と共にガザに入る。
爆撃で両親兄弟を失った子ども、目の前で家族を銃撃された男性、土地を奪われ逃げてきた人々、、、「顔を持つ」一人一人の証言が記録されるとともに、パレスチナ出身の詩人マフムード・ダルウィーシュの詩が引用され、ガザの人々が生きてきた歴史と記憶が呼び起こされる。

2011年 / フランス・パレスチナ / 92分 / アラビア語 / 日本語字幕
原題 Gaza-Strophe, Palestine

上映後オンライントーク

ケリディン・マブルーク (監督)



本作について

2023年10月中旬、イスラエルによるガザ地区への軍事攻撃が始まってから10日後、共同監督の一人である友人のケリディン・マブルークからショートメッセージが届いた。「撮影から10年以上経ってもこの映画が今日の意義を持つとは思わなかった」と。また彼は、パレスチナの人々は常に西洋の視点から描かれ死者数という数に還元されてきたが、一人一人の顔を描き世界に伝えることが第一の目的だったと振り返る。
本作はガザの地で生きる人々の姿を丁寧に描きながら、同時にパレスチナ問題の背景にある西洋諸国による二重基準、構造的暴力について浮かび上がらせる。
ガザでは終わりの見えない悲惨な戦禍が続いているが(2024年3月現在)、作品が持つ「一人一人の声を伝える」力、世界の非対称性についての問題提起は今だからこそ多くの気づき、考えるきっかけを与えてくれる。(ニコ愛莉)



会場

東京外国語大学 アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール
(東京都府中市朝日町3-11-1)

お問い合わせ

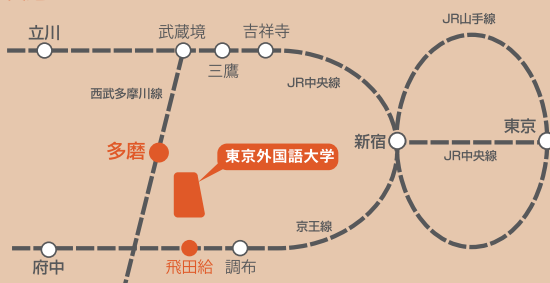
東京外国語大学 広報・社会連携課(TUFS Cinema担当)
TEL 042-330-5441(平日9:00~17:00)
Email tufscinema@tufs.ac.jp
Facebook [@tufscinema.pr](https://www.facebook.com/tufscinema.pr) X(Twitter) [@tufscinema](https://twitter.com/tufscinema)

入場無料 / 事前登録制(先着500名)

<https://sanda.tufs.ac.jp/event/tc240510form/>



交通アクセス



- ◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分(JR新宿駅から約40分)
- ◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車